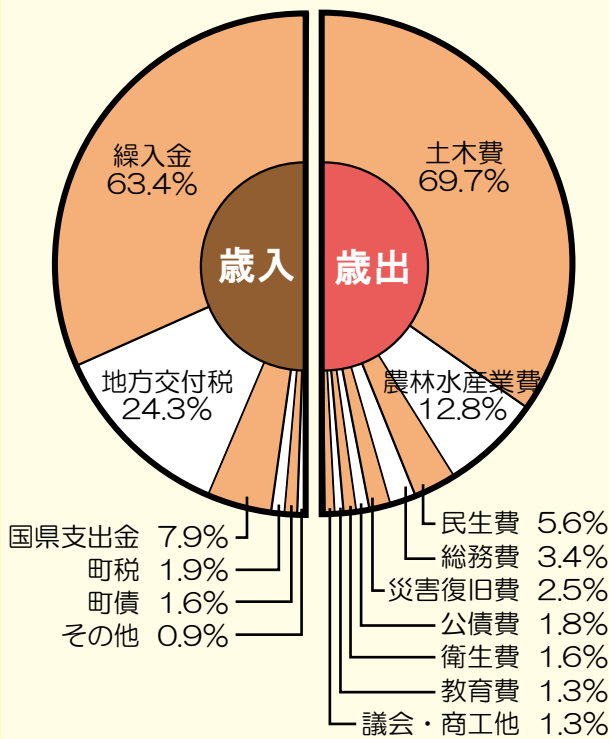


# 平成26年度予算額

◆一般会計 481億9663万円



- ・土木費 道路の整備や区画整理事業などに使われる経費
- ・農林水産業費 農林水産業の振興に使われる経費
- ・民生費 福祉の向上のために使われる経費
- ・総務費 一般事務や、復興事業に使われる経費
- ・災害復旧費 災害復旧のために使われる経費
- ・公債費 事業を行うために借りましたお金の返済に充てる経費
- ・衛生費 各種検診などに使われる経費

## 介護サービス利用の状況は

**問** 介護サービスを利用している人の区分は。震災前との人数の比較は。  
**国保介護課** 65歳以上の5590人のうち750人程度である。在宅は55・8%、施設が15・8%、地域密着が8・8%である。人数は震災前と同程度である。

## 暮らし

**新・斎場の建設計画は**  
**問** 斎場計画業務委託料、斎場実施設計管理委託料、斎場実施設計管理委託料

託料の内容は。  
**町民課** 新しい斎場を建設する。計画業務委託では斎場の間取りや形、広さなどの基本的な部分の計画を作成する。実施設計では計画に基づく数値から金額を算出する。具体的な建設場所は決まっていない。

## 除排雪が不十分だ

**問** 大雪時の歩道や通学路の除排雪が不十分だが。  
**建設課** 車両の通行を優先している。豊間根地区ではボランティア団体が除雪機を借りて除雪して

いる。  
**近藤医院はどうなる**  
**問** 近藤医院が完成するようだが、どのようになるのか。  
**国保介護課** 病院は通院型の医療体制となり、「(仮称)かる」は80床、40床程度からスタートしたいとのこと。通所の定員は50人。

町内の利用者で震災後に町外の施設に入所した人にアンケートを取ったところ、30人のうち15人は再開したら町に戻ってきたいとのこと。

## バリアフリー化への補助は

**問** 高齢者にやさしい住まいづくり事業補助金の内容は。  
**健康福祉課** トイレや風呂のバリアフリー化に利用することができ、県と町から上限各30万円、計60万円(※注)の補助がある。  
 ※注 要綱の改正により、4月1日から補助額が変更され、県・町から上限各20万円(計40万円)となりました。

## 観光

**荒神海水浴場大丈夫か**  
**問** 荒神海水浴場を再開するようだが、湾岸道路や避難道路の安全確保は。満潮時でも泳げるか。  
**建設課** 湾岸道路には落石対策として防護ネットを張っている。破れたら災害復旧事業で対応し、落石や倒木については通常の維持補修で対応しており、現時点では安全であると考えている。

## 上下水道

**下水道の利用開始は**  
**問** 地区ごとの下水道の利用開始時期は。  
**上下水道課** 織笠地区は27年度から、山田地区は28年度ごろからと考えているが、終末処理場の利用開始が28年4月からである。終末処理場が使えるまでは仮設の浄化槽で対応する。

## 排水管の敷設計画は

**問** 低地部への配水管の敷設計画は。  
**上下水道課** 国道の歩道に入れたいと考えているが、復興計画を見ながら対応したい。

## 国保

### 他市町村との税額比較は

**問** 国保税額は他市町村と比べていかがか。  
**国保介護課** 一世帯当たりでは山田町9万円、宮古市10万円、県平均13万円、一人当たりでは山田町5万円、宮古市6万円、県平均では7万円となっている。

## 財政

### 町民税20%増は

**問** 町民税を前年度比で個人20%増、法人17%増としたのは。  
**税務課** 個人は25年度予算では低く見積もっていたが、実績で個人の給与所得が伸びているため。また、法人数が増えたことと企業の法人税割が伸びているためである。